
通信性能検証用ソフトウェア取扱説明書 (Serial R/W)

1. 機能概要

本ソフトウェアを使用することで、PCに接続している対象R/WからPollingコマンドを出力します。対象R/WにかざしているFeliCa対応携帯電話（もしくはFeliCaカード）からのレスポンスの有無、正答率を画面に表示します。

2. 動作環境

【対象 R/W】

ソニー製 Serial R/W : RC-S012B

【PC 環境】（下記条件下で全ての機種における動作を保証するものではありません）

Windows7 の動作するPCでシリアルポートが使用できること

シリアルポートの番号が 1～20 の範囲であること

3. インストール方法

Zipファイルを解凍し、全てのファイルを任意のフォルダに格納して使用してください。

4. PC-R/W間のシリアル通信

ポートを指定する方法と自動で検出させる方法があります。

(1)自動検出

コマンドライン引数でシリアルポートを指定しない場合は、下記範囲でシリアルポート、通信速度、PC-R/W間暗号化設定を順次検索し、最初に通信できた条件で接続します。

PC-R/W間の暗号化設定でTriple-DESを選んだ際に使用する鍵値は、コマンドライン引数で指定された値が使用されます。コマンドライン引数で鍵値を指定しない場合はデフォルト値が使用されます。

【自動検出範囲】

- ・シリアルポート：COM1～COM20 の間を検索
- ・通信速度：R/W側で設定可能な値（R/Wデフォルトの 115200bps設定での使用を推奨）
- ・PC-R/W間の暗号化設定：暗号無し/Triple-DES

(2)ポートを指定する方法

コマンドライン引数でシリアルポートを指定することで、自動検出を省略することができます。

自動検出を省略した場合の他のシリアル通信条件はデフォルト値もしくはコマンドライン引数で指定された値が使用されます。必要に応じて、シリアルポートの通信速度設定、PC-R/W間の暗号化設定、PC-R/W間の暗号化設定でTriple-DESを選んだ際に使用する鍵値もコマンドライン引数にて指定してください。

5. 実行方法

対象R/WをPCに接続し、対象R/Wの電源を入れる。コマンドプロンプトを起動し、実行ファイルを格納したフォルダに移動し、polling_serial.exeを実行する。

フォルダ表示からpolling_serial.batをダブルクリックして実行することも可能です。

実行中のpolling_serial.exeを終了する場合はいずれかのキーを押してください。

6. コマンドライン引数

すべてオプションです。必要な場合のみ指定してください。

【シリアルポート】 デフォルト：自動検出

設定例 (COM5 を指定する場合) : polling_serial.exe c COM5

【シリアルポートの通信速度設定】 デフォルト：115200bps

設定例 (9600bpsを指定する場合) : polling_serial.exe b 9600

【PC-R/W 間の暗号化設定】 デフォルト：Triple-DES での暗号化あり

設定例 (暗号化なしを指定する場合) : polling_serial.exe kagi off

【PC-R/W 間の暗号化設定で Triple-DES を選んだ際に使用する鍵値】

デフォルト : Ka[00 00 00 00 00 00 00 00], Kb[FF FF FF FF FF FF FF FF]

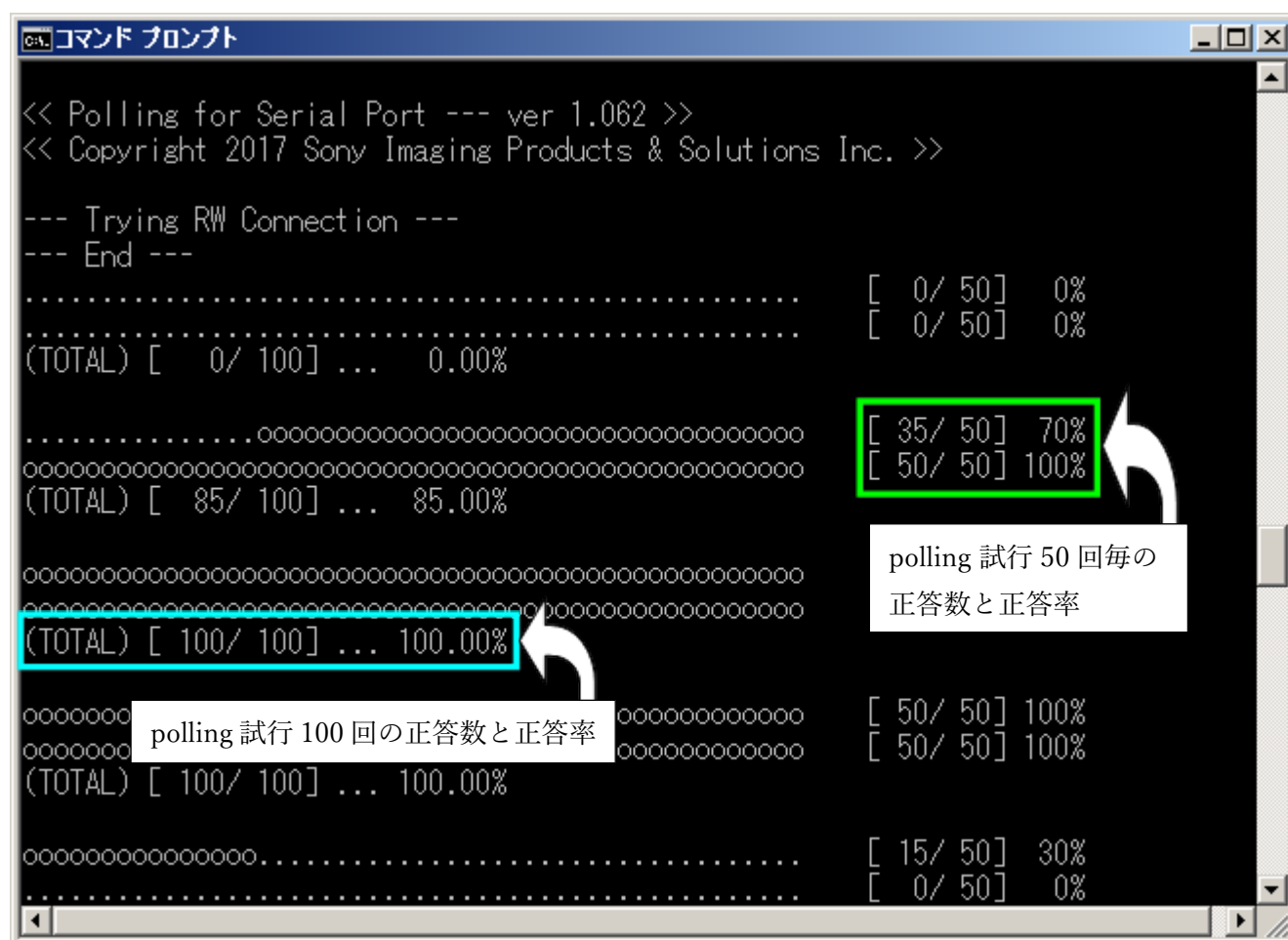
設定例 (Ka[11 11 11 11 11 11 11 11], Kb[22 22 22 22 22 22 22 22]を指定する場合) :

polling_serial.exe ka 1111111111111111 kb 2222222222222222

【カードからのレスポンスタイムアウト値】 デフォルト：50msec

設定例 (100msecを指定する場合) : polling_serial.exe rt 100

7. 画面出力



- 1行毎に、50回連続Pollingにおける正答数および正答率を表示します
- 2行毎に、100回連続Pollingにおける正答数および正答率を表示します
- 各 "o", ".", "X" はPollingコマンド1回毎のレスポンス状況を表示します
 - o : カード側から正常な応答があった場合
 - . : 一定時間内にカード側から応答がない (Timeout)
 - X : 上記以外